

13 障害者施策全般について

(1) 障害者施策を充実するために必要なこと（複数回答）

障害者施策を充実するために必要なことは、身体障害者では「障害者や高齢者にやさしい福祉のまちづくりを推進すること」、知的障害者、精神障害者では、「障害のある人の働く場の確保や働き続けるための支援を充実すること」、施設入所者では、「障害のある人とない人の交流をすすめ、お互いの理解を深めること」「本人だけでなく、家族も支える手助けを充分におこなうこと」が最も多くなっている。

(単位：%)

区 分	身体障害者 (n=558)	知的障害者 (n=248)	精神障害者 (n=434)	施設入所者 (n=100)
障害の早期発見・早期療育に努めること	33.5	40.3	47.5 (2位)	19.0
障害のある人とない人の交流を推進し、相互理解を深めること	31.2	44.0	31.3	37.0 (1位)
障害のある子どもそれぞれの障害状況や発達段階に応じた教育を進めること	35.1	48.0 (3位)	34.3	27.0
障害のある人の働く場の確保や働き続けるための支援を充実すること	38.2 (2位)	55.2 (1位)	50.7 (1位)	25.0
ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること	28.1	24.6	24.9	22.0
区内で利用できる施設を整備すること	29.6	45.2	26.5	19.0
障害者や高齢者にやさしい福祉のまちづくりを推進すること	42.1 (1位)	40.7	37.8	36.0 (3位)
障害のある人の住まいを整備すること	31.2	43.1	31.8	23.0
文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう支援すること	19.0	27.0	21.7	18.0
障害のある当事者による活動を支援すること	18.3	25.0	20.7	17.0
ボランティア活動を充実すること	15.1	16.9	15.7	8.0
障害者施策や福祉に関する情報提供を充実すること	33.7	39.5	32.7	18.0
相談体制を充実し、適切な支援に努めること	34.1	43.1	38.5 (3位)	30.0
当事者のみでなく、家族を支える支援を充実すること	37.1 (3位)	50.8 (2位)	38.5 (3位)	37.0 (1位)
その他	2.3	2.4	5.5	6.0
特になし	5.9	4.8	6.7	13.0
無回答	17.4	12.1	8.5	15.0

【前回調査との比較】

(単位：%)

区 分		1 位	2 位	3 位
身体 障害者	今 回 (n=558)	やさしい福祉のまちづくりを 推進すること (42.1)	働く場の確保や働き続けるた めの支援の充実 (38.2)	家族を支える支援を充実する こと (37.1)
	前 回 (n=2,064)	やさしい福祉のまちづくりを 推進すること (43.7)	障害者施策や福祉に関する情 報提供を充実する (30.2)	働く場の確保や働き続けるた めの支援の充実 (29.3)
知 的 障害者	今 回 (n=248)	働く場の確保や働き続けるた めの支援の充実 (55.2)	家族を支える支援を充実する こと (50.8)	障害のある子どもそれぞれに 応じた教育の推進 (48.0)
	前 回 (n=350)	働く場の確保や働き続けるた めの支援の充実 (58.9)	やさしい福祉のまちづくりを 推進すること (53.1)	障害のある子どもそれぞれに 応じた教育の推進 (52.9)
精 神 障害者	今 回 (n=434)	働く場の確保や働き続けるた めの支援の充実 (50.7)	障害の早期発見・早期療育に 努めること (47.5)	相談体制の充実、家族支援の 充実 (ともに38.5)
	前 回 (n=311)	働く場の確保や働き続けるた めの支援の充実 (41.2)	やさしい福祉のまちづくりを 推進すること (37.3)	障害者施策や福祉に関する情 報提供の充実 (37.3)

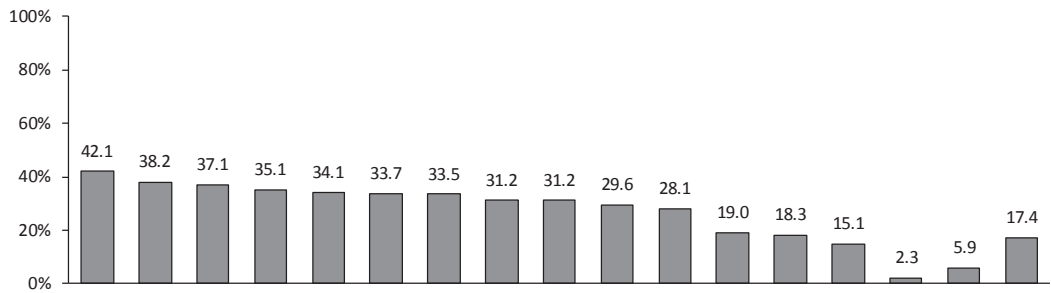
【身体障害者】

障害の程度別にみると、全体とほぼ同様の傾向を示している。

障害の種類別にみると、視覚障害、聴覚障害では「障害者や高齢者にやさしい福祉のまちづくりを推進すること」（それぞれ52.8%、44.6%）、肢体不自由（体幹）では「障害のある子どもそれぞれの障害状況や発達段階に応じた教育を進めること」（52.1%）が最も多い。

年齢3区分別にみると、0～17歳では「障害のある子どもそれぞれの障害状況や発達段階に応じた教育を進めること」（70.1%）が最も多い。また、0～17歳、18～64歳では、「障害のある人の働く場の確保や働き続けるための支援を充実すること」の割合も高い（それぞれ52.8%、44.6%）。

障害者施策の充実に必要なこと



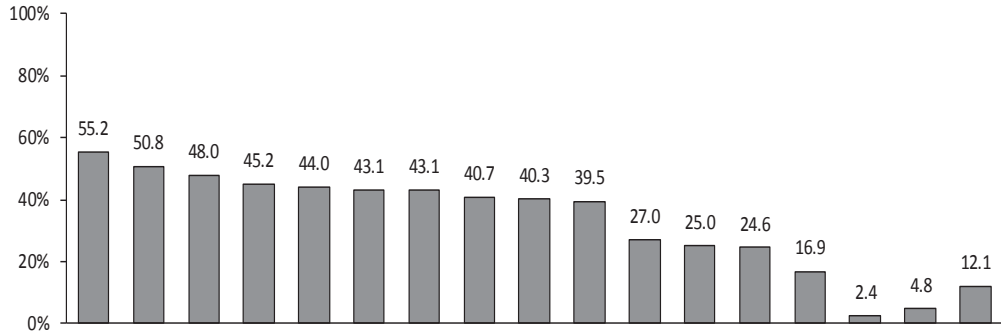
【障害の程度別】	n	7	4	14	3	13	12	1	2	8	6	5	9	10	11	15	16	17
		ち障害者や高齢者にやさしい福祉のまちづくりを推進すること	障害のある人の働く場の確保や働き続けるための支援を充実すること	当事者のみでなく、家族を支える支援を充実すること	発達段階に応じた教育を進めること	障害のある子どもそれぞれの障害状況や発達段階に応じた教育を進めること	相談体制を充実し、適切な支援に努めること	障害者施策や福祉に関する情報提供を充実すること	障害の早期発見・早期療育に努めること	障害のある人とならない人の交流を推進し、相互理解を深めること	障害のある人の住まいを整備すること	障害のある人の住まいを整備すること	区内で利用できる施設を整備すること	ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること	文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう支援すること	障害のある当事者による活動を支援すること	ボランティア活動を充実すること	その他
0 全体	558	42.1	38.2	37.1	35.1	34.1	33.7	33.5	31.2	31.2	29.6	28.1	19.0	18.3	15.1	2.3	5.9	17.4
1 重度(1・2級)	307	45.9	42.3	39.1	39.4	37.8	36.8	35.5	35.8	34.5	32.2	30.9	22.8	19.5	16.3	2.9	5.9	14.0
2 中度(3・4級)	173	42.2	35.8	38.7	29.5	31.8	31.8	33.5	27.7	30.1	31.8	28.3	16.8	17.9	14.5	2.3	5.8	16.2
3 軽度(5・6級)	63	28.6	28.6	25.4	31.7	25.4	27.0	27.0	22.2	22.2	12.7	14.3	7.9	11.1	9.5	-	6.3	31.7
【障害の種類別】																		
1 視覚障害	89	52.8	36.0	28.1	27.0	37.1	29.2	24.7	27.0	30.3	29.2	27.0	20.2	16.9	18.0	2.2	6.7	18.0
2 聴覚障害	92	44.6	40.2	38.0	38.0	34.8	38.0	38.0	41.3	30.4	21.7	23.9	27.2	21.7	21.7	2.2	5.4	20.7
3 平衡機能障害	2	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	18	27.8	38.9	16.7	22.2	5.6	22.2	5.6	11.1	33.3	22.2	11.1	16.7	11.1	-	11.1	16.7	11.1
5 肢体不自由(上肢、下肢等)	138	55.8	47.8	50.0	47.8	42.8	39.1	45.7	37.7	42.0	47.1	39.1	22.5	21.7	20.3	2.2	3.6	8.7
6 肢体不自由(体幹)	48	31.3	31.3	39.6	52.1	35.4	39.6	39.6	35.4	22.9	33.3	29.2	12.5	25.0	8.3	2.1	-	18.8
7 内部障害	136	31.6	35.3	33.1	25.0	30.9	32.4	30.1	26.5	29.4	22.8	24.3	14.0	13.2	11.0	1.5	7.4	16.9
8 その他	14	14.3	21.4	21.4	28.6	14.3	14.3	21.4	28.6	14.3	7.1	21.4	7.1	14.3	7.1	7.1	14.3	42.9
【年齢別】																		
1 0～17歳	144	44.4	52.8	56.3	70.1	47.2	45.8	51.4	41.0	34.0	34.7	34.0	30.6	28.5	21.5	4.2	4.2	9.0
2 18～64歳	186	45.7	44.6	38.2	31.2	35.5	36.0	31.7	35.5	40.9	29.6	23.7	16.7	18.8	12.4	1.6	3.8	9.1
3 65歳以上	214	38.8	23.8	24.8	16.4	25.2	25.2	24.3	22.0	22.4	27.1	29.0	14.0	11.7	14.0	1.4	9.3	28.5

【知的障害者】

障害の程度別にみると、最重度・重度（1・2度）、中度（3度）では「本人だけではなく、家族を支える手助けを充分におこなうこと」（それぞれ59.2%、60.0%）が最も多くなっている。

年齢3区分別にみると、年齢区分が低いほど、「障害のある子どもそれぞれの状況にあった教育をおこなうこと」「障害のある人の働くところを用意し、仕事を続けられるように努めること」の割合が高い傾向がみられる。

障害者施策の充実に必要なこと



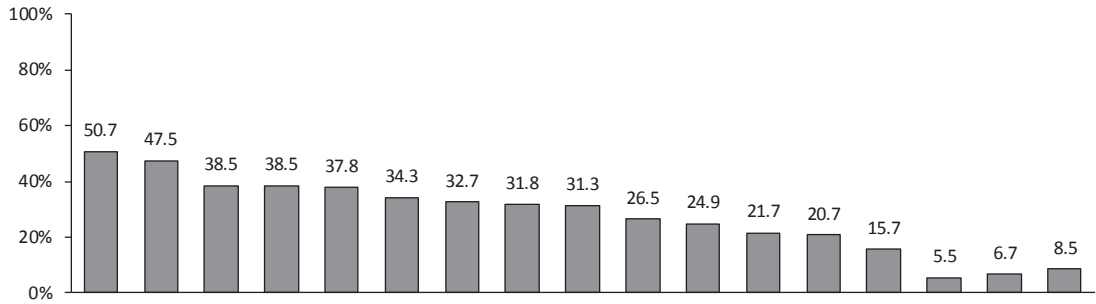
【障害の程度別】	n	4	14	3	6	2	8	13	7	1	12	9	10	5	11	15	16	17	
		障害のある人の働くところを用意し、仕事を続けられるように努めること	本人だけではなく、家族を支える手助けを充分におこなうこと	障害のある子どもそれぞれの状況にあった教育をおこなうこと	区内で利用できる施設をつくり増やすこと	障害のある人となじみの交流を深めること	障害のある人の住まいをつくり増やすこと	相談しやすいようにすること	障害者や高齢者にやさしい福祉のまちづくりをすすめること	障害の早期発見・早期療育に努めること	障害者施設や福祉に関するおしらせを充分におこなうこと	文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるような手助けすること	障害のある当事者による活動を手助けすること	ホームヘルパーの派遣など自宅での生活を支えるサービスに力をいれること	ボランティア活動をすすめること	その他	特になし	無回答	
0 全体	248	55.2	50.8	48.0	45.2	44.0	43.1	43.1	40.7	40.3	39.5	27.0	25.0	24.6	16.9	2.4	4.8	12.1	
1 最重度・重度 (1・2度)	76	52.6	59.2	50.0	55.3	40.8	53.9	44.7	47.4	46.1	48.7	34.2	31.6	35.5	25.0	2.6	2.6	13.2	
2 中度 (3度)	65	58.5	60.0	50.8	49.2	49.2	49.2	38.5	49.2	33.8	43.1	26.2	30.8	23.1	12.3	1.5	4.6	10.8	
3 軽度 (4度)	94	60.6	40.4	47.9	36.2	46.8	31.9	48.9	33.0	42.6	30.9	24.5	19.1	18.1	13.8	3.2	6.4	9.6	
【年齢別】																			
1 0～17歳	92	75.0	69.6	71.7	58.7	60.9	55.4	64.1	48.9	54.3	50.0	39.1	34.8	30.4	22.8	3.3	2.2	2.2	
2 18～64歳	107	48.6	40.2	36.4	34.6	36.4	37.4	31.8	34.6	32.7	33.6	18.7	17.8	21.5	11.2	2.8	4.7	15.9	
3 65歳以上	39	30.8	35.9	25.6	41.0	25.6	30.8	30.8	35.9	33.3	25.6	25.6	20.5	23.1	15.4	-	10.3	25.6	

【精神障害者】

精神障害者の診断名別にみると、統合失調症と診断されている人では「障害の早期発見・早期療育に努めること」（53.6%）が最も多い。

年齢3区分別にみると、18～64歳では「障害のある人の働く場の確保や働き続けるための支援を充実すること」（56.9%）が最も多く、次いで「障害の早期発見・早期療育に努めること」（49.7%）が続いている。

障害者施策の充実に必要なこと

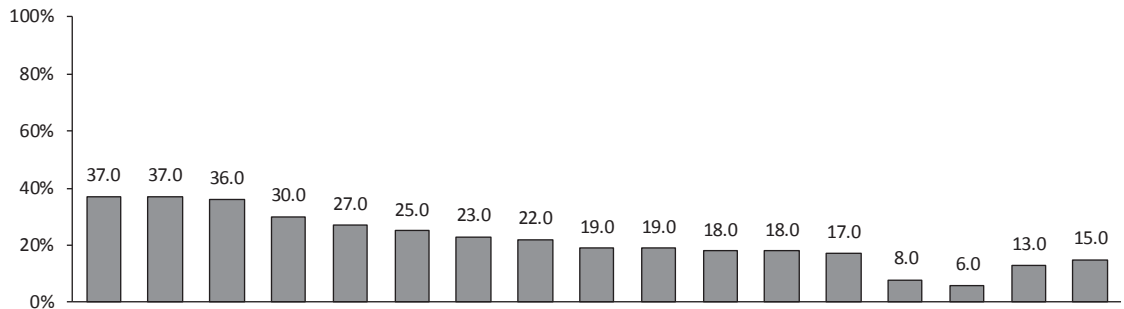


【診断名別】	n	4	1	13	14	7	3	12	8	2	6	5	9	10	11	15	16	17	
		障害のある人の働く場の確保や働き続けること	障害の早期発見・早期療育に努めること	相談体制を充実し、適切な支援に努めること	当事者のみでなく、家族を支える支援を充実すること	障害者や高齢者にやさしい福祉のまちづくりを推進すること	障害のある子どもそれぞれの障害状況や発達段階に応じた教育を進めること	障害者施策や福祉に関する情報提供を充実すること	障害のある人の住まいを整備すること	障害のある人となじみの交流を推進し、相互理解を深めること	区内で利用できる施設を整備すること	ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること	文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるように支援すること	障害のある当事者による活動を支援すること	ボランティア活動を充実すること	その他	特になし	無回答	
0 全体	434	50.7	47.5	38.5	38.5	37.8	34.3	32.7	31.8	31.3	26.5	24.9	21.7	20.7	15.7	5.5	6.7	8.5	
1 統合失調症	97	45.4	53.6	38.1	41.2	43.3	22.7	42.3	37.1	29.9	25.8	29.9	23.7	24.7	17.5	7.2	7.2	4.1	
2 うつ病・躁うつ病	163	46.0	42.3	36.8	34.4	36.2	29.4	25.8	25.8	28.8	20.9	23.3	18.4	16.0	12.3	5.5	6.1	9.8	
3 発達障害	70	77.1	55.7	40.0	50.0	32.9	67.1	44.3	40.0	38.6	34.3	24.3	24.3	25.7	15.7	8.6	4.3	1.4	
4 その他	84	52.4	51.2	45.2	39.3	44.0	34.5	32.1	35.7	35.7	34.5	25.0	27.4	25.0	22.6	2.4	6.0	11.9	
【年齢別】																			
1 0～17歳	27	66.7	48.1	40.7	44.4	37.0	55.6	37.0	25.9	25.9	33.3	14.8	14.8	11.1	18.5	3.7	14.8	-	
2 18～64歳	306	56.9	49.7	42.5	42.5	37.6	36.9	36.6	37.9	36.3	28.4	25.8	24.8	24.2	16.7	6.9	4.6	5.9	
3 65歳以上	90	27.8	40.0	25.6	25.6	37.8	21.1	21.1	14.4	14.4	18.9	25.6	13.3	12.2	11.1	2.2	12.2	17.8	

【施設入所者】

年齢別にみると、18～64歳では、全体とほぼ同様に傾向を示している。

障害者施策の充実に必要なこと



【年齢別】	n	14	2	7	13	3	4	8	5	1	6	9	12	10	11	15	16	17
		本人だけでなく、家族も支える手助けを充分におこなうこと	お互いの理解を深めること	障害者や高齢者にやさしい福祉のまちづくりをすすめること	相談しやすいようにすること	障害のある子どもそれぞれの状況にあつた教育をおこなうこと	障害のある人の働くところを用意し、仕事を続けられるように努めること	障害のある人の住まいをつくり増やすこと	ホームヘルパーの派遣など自宅での生活を支えるサービスに力をいれること	障害の早期発見・早期療育に努めること	区内で利用できる施設をつくり増やすこと	文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう手助けすること	障害者施策や福祉に関するおしらせを充分におこなうこと	障害のある当事者による活動を手助けすること	ボランティア活動をすすめること	その他	特になし	無回答
0 全体	100	37.0	37.0	36.0	30.0	27.0	25.0	23.0	22.0	19.0	19.0	18.0	18.0	17.0	8.0	6.0	13.0	15.0
1 18～64歳	81	37.0	38.3	35.8	28.4	27.2	22.2	21.0	21.0	19.8	18.5	18.5	17.3	17.3	8.6	6.2	9.9	17.3
2 65歳以上	13	46.2	38.5	46.2	46.2	30.8	46.2	30.8	30.8	23.1	15.4	15.4	23.1	23.1	7.7	7.7	30.8	-

(2) 意見・要望（自由回答）

主な意見は、次のとおりである。

【身体障害者】

(相談支援・情報提供)

- ・ 情報提供の充実
- ・ 相談窓口の対応の充実
- ・ 窓口に医療系職員を配置

(サービスの利用・内容)

- ・ 利用手続きの簡素化
- ・ 必要な施設の整備とそこでの支援内容の充実
- ・ 福祉タクシー券の充実
- ・ 紙オムツ支援の充実
- ・ 補装具費等の支援の充実

(障害児支援)

- ・ 放課後等デイサービスの充実
- ・ 学童クラブの障害児枠の増設
- ・ インクルーシブ教育の構築

(就労支援)

- ・ 働ける場所の確保
- ・ 通勤支援の実施

(社会参加・地域支援)

- ・ バリアフリーの推進
- ・ 移動支援の充実
- ・ ボランティアの質の向上

(制度・利用者負担等)

- ・ 公共機関、施設の利用料金の無料化
- ・ 住宅支援策、住宅費用への支援
- ・ 適正な利用者負担の仕組みの構築
- ・ 各種手当、医療費など所得制限の見直し
- ・ 保養施設の利用料の減額
- ・ 障害程度に関わらず、必要な検査等の費用を無料化に。

(介護者・親への支援)

- ・ 介護者の支援にも力を入れていくこと。
- ・ 子どもの障害が重度でも働けるよう、入れる保育園が必要である。
- ・ レスパイトを目的とした施設の充実

(その他)

- ・ 親亡き後が不安
- ・ 障害が重度になった場合の入院施設の整備
- ・ 障害者が住みよい街づくりは、高齢者にとっても乳幼児を連れた母親にも重要である。
- ・ 障害のある人、無い人が、一緒に自然に暮らすのが当たり前な社会だが、そうっていない。

【知的障害者】

(相談支援・情報提供)

- ・ 相談窓口の対応の向上
- ・ 療育について対応・相談できる機関の充実

(サービスの利用・内容)

- ・ グループホーム、ケアホーム、入所施設の整備
- ・ 作業所の増設

- ・肢体不自由者の為のリハビリ施設の充実
- ・統廃合により使っていない施設の有効活用
- ・親亡き後、障害者が生活できる施設の充実

(障害児支援)

- ・地元で教育を受けることができるよう、特別支援学級の受け入れを増やしてほしい。
- ・気軽に利用でき、送迎付きの一時預かりしてくれる場所がほしい。
- ・特別支援学級への通学援助の充実

(就労支援)

- ・福祉作業所の工賃のアップ

(社会参加・地域支援)

- ・文化・スポーツ・レクリエーション活動など幅広い参加場所の確保
- ・道路等のバリアフリー化

(制度・利用者負担等)

- ・手当てについての所得制限の撤廃、軽減
- ・成年後見制度の仕組みの充実

(介護者・親への支援)

- ・障害者を抱える家族への支援の充実

(その他)

- ・親の高齢化、重病等で早期にグループホームの数を増やす政策を進めてほしい。

【精神障害者】

(相談支援・情報提供)

- ・電話やインターネットで相談できるシステム
- ・無料で気軽に相談できる体制の充実
- ・精神疾患への理解促進のための情報発信の充実
- ・障害者本人や家族に受けられるサービスや情報を直接伝える。

(サービスの利用・内容)

- ・利用手続きの簡素化
- ・サービス内容の充実
- ・施設や施設職員の増設・増員
- ・一人ひとりの障害の程度に応じたきめ細やかな支援
- ・働きながら暮らせる施設の整備
- ・高齢者と若い精神障害者向け施設はあるが、中・高年の施設が少ない。
- ・セーフティネットの堅守

(障害児支援)

- ・学校の先生の障害に対する理解促進
- ・障害児専門の教育施設の充実

(就労支援)

- ・障害者雇用の充実

(社会参加・地域支援)

- ・外出支援策の充実
- ・移動支援の利用範囲を広げてほしい。

(制度・利用者負担等)

- ・カウンセリングを必要とする人は多いが、自己負担が大きい。
- ・交通機関の料金や公共料金などについて、障害者の負担を軽減すべき。

(その他)

- ・親亡き後の支援策の充実
- ・精神疾患への偏見を無くして欲しい。国を上げて、差別を無くして欲しい。
- ・精神障害者用のマークが欲しい。
- ・質の高いカウンセラーの育成

【難病患者】

(相談支援・情報提供)

- ・難病ごとの支援制度についての情報提供の充実
- ・同じ病気の人や家族に情報提供したい。
- ・受けることのできるサービスの個人宛の送付
- ・災害時にどこへ行けば人工透析が受けられるかの情報を発信してほしい。

(サービスの利用・内容)

- ・補装具への支援の充実

(就労支援)

- ・難病も法定雇用率に入れるべきである。
- ・難病患者の働きやすい環境の整備
- ・難病でも普通に働ける仕事がほしい。
- ・体調に合った就労先と、療養をつづけていける支援

(社会参加・地域支援)

- ・バリアフリーの推進

(制度・利用者負担等)

- ・難病医療費助成、障害者手帳、税の障害者控除などの手続きの簡素化
- ・障害者と付き添いの人の割引・無料サービスの拡充
- ・難病患者の医療費負担を軽減
- ・難病患者への障害者手帳の交付

(その他)

- ・郵便物等の配達が目立たないようにしてほしい。
- ・難病マークの発行

【施設入所者】

(相談支援・情報提供)

- ・区の職員の専門性の向上